

# とうほうの風

～ やさしい心 丈夫なからだ みんな仲よく ひとりだち ～

令和7年(2025年) 12月1日 発行

## ステキな“笑顔”から生み出された、ステキな“世界観”

～ 2025年度「制作展」～

【園長：田川隆司】

11月22日(土)、子どもたちが“感性”を育んだ出来事から「絵画」や「制作」を行った結果として出来上がった作品を紹介する「制作展」が開催され、今年も園児たちそれぞれの発達段階に応じた作品の数々を、ご家族そろって観ていただくことができました。

今年の「大阪・関西万博」だけでなく、インバウンド効果により海外からの観光客が増加して久しいですが、“爆買い”の時代から“日本の文化を体験する”ことに視点が変わり、いわゆる有名観光地とは異なる日本各地の情報が SNS 等で注目され、その地でしか体験できないことにも注目されるようになってきました。東邦幼稚園の「制作展」でも、小学校でよくある「図工展」のように“鑑賞”してまわるものから、来園者が“やってみる”ことにもチャレンジしてくれました。運動会同様に他の学年の取り組みを見て、『あそこがいいね』『ここがすごいね』等々の声を出し合うことは、発達段階において年長へのあこがれと年少への慈しみを育む素晴らしい機会だと考えています。お子様の成長が互いに感じられるステキな“世界観”はいかがでしたでしょうか。

さて、2学期も残すところ3週間程となりました。12月15日(月)には、「クリスマス祝会」を予定しており、それぞれ園児が「自覚」を持ち、「やる気」と「自信」が沸いてきたように感じるのは「集団という意識をもつ！」大げさかもしれませんが、「東邦幼稚園という誇りを持ち、信頼関係を築き、生活発表会につなげる」という日々の目標があり、おともだち(なかま)とともに協力して一人ひとりが自己実現できてきた成長の証としてご家族とともに認めてあげましょう。集団生活として、ルールやマナーを守るのはもちろん、それなら「自分たちの力で何とかしよう！」というポジティブな空気が幼稚園生活全体に漂いだしたのは本当に素晴らしくうれしいことです。

そして、年長組は「就学」という新たな環境(進路)に対して真正面から向き合う時期となりました。園児はもちろんのこと、保護者の皆様も期待と不安が当然おありかと思いますが、日常には積み重なる数々の体験と基本の「あいさつ」や「ことばづかい」、「お箸の持ち方」や「交通安全」等について再度見直す時期がきています。日々の何気ない“体験”の“積み重なり”が、これからの人生で大切な「非認知能力」を育てます。「非認知能力」とは、目に見えない感情や心の働きといったような、数値化しにくい分野の能力のこと。

- 目標に向かって頑張る力 <前向きに取り組む姿勢、忍耐力>
- 他者と協働し、関わる力 <社会性、チームワーク力>
- 自分の気持ちをコントロールする力 <感情コントロール力>

就学を前に、日常に積み重なる数々の「体験」と基本の「挨拶・返事・クツそろえ」や「ことばづかい」、「お箸の持ち方」や「交通安全」について再度見直す時



期がきています。子どもたちの会話に相変わらず聞こえてくる男女問わない幼児期の「オレ・オマエ」という発言は、非常に心配なことです。

保護者の皆様も同様に心配されるこの時期、「親子の対話」を十分していただくとともに、遠慮なく園の職員にご相談いただけたらと思います。万引きに代表される小学校での規範意識の低下や度重なる集団でのいじめが増加したり、人間関係で感情を制御できない子どもたちが増えたりする中、子どもたちの苛立ちが増すのは、確実に「コミュニケーション力の不足」「愛着不足」とも言われています。保護者の皆様からも、子どもたちの人生の節目に、目標となる身近で大きな「先輩」としての心強いアドバイスを是非お願いいたします。それこそが“親”としての「子育ての醍醐味」なんですよ。

#### 園長の【四方山話（よもやまばなし）】

##### ★ 親のかかわり・その3：「お子さんと「笑顔」で会話ができていますか？」

両親の遺伝子を引き継いだ子どもは、顔かたちを含めて、性格上〇〇が得意、△△が苦手というように、親に似てくる部分もあれば、うれしくなるほど全く異なった才能を発揮する時もあります。毎日、子どもと関わっていると、つい「笑顔」を忘れてしまう時がありませんか？「そんなノンビリしてられません！」という声が聞こえてきそうですが、今まで私は、折に触れて「挨拶、返事、クツそろえ」と“呪文”のように話しかけています。挨拶や返事は強く求めて（例えば「ホレ！挨拶しなさい！」と）行う行為ではなく、そうしているおとなの姿が、将来の見本となり、そして、コミュニケーションのきっかけと思っています。

その日常の結果として“気づいた”子どもがトイレのスリッパをそろえてくれているんです。“おとな”として子どもたちにステキな姿をみせたいですね。

##### 【ステキな“おとな”をみせましょう！】

- ・「挨拶、返事、クツそろえ」は、「自立」への第一歩
- ・ 将来の目標は、日本人の“美德”とする「時を守り、場を清め、礼を正す」です。
- ・ 子どもの生活環境を守るのは、「保護者の責任」です。

##### ★ 親のかかわり・その4：「お子さんと手をつないでいますか？」

子どもが一人で立った時の感動はまだまだお忘れではないでしょう。そして、一歩ずつ歩き始め、外へ出られるようになり、子どもと手をつなぐ時、ママやパパはかなりゆっくりと子どもと歩調を合わせて歩いたのではないのでしょうか。幼稚園でもお友だちと手をつなぐことがたくさん増えました。このように、誰かと手をつないで歩く時は、“相手のことを考えて”動くことがとても大切になります。

もしも、“相手のことを考えないで”歩いてしまったら、早すぎたり遅すぎたりしてうまく歩けなくなってしまう。手をつないで歩く子どもの方も、ママやパパに合わせて遅れないようにと一生懸命に頑張っているはず。 (自転車から門までの「わずかな距離」でも同じなんですよ。)

親子で手をつないで歩くことは、“相手のことを思いやり行動すること”につながります。これは子どもの「社会性や協調性」を育むための「最初のレッスン」になるとも考えられ、学校での集団生活になじむためにも大切なことです。イヤイヤ期には手をつなぐことを嫌がる場合があり、好奇心にまかせてなんでも1人でやりたい時期なので、自尊心を尊重してあげたい部分もありますが、やはりまだまだ1人で歩くことは危険です。降園時には勢いよく飛び出てしまわないよう、そして、道路では必ず手をつないであげてください。